

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第56期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	扶桑化学工業株式会社
【英訳名】	FUSO CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 赤澤 良太
【本店の所在の場所】	大阪市中央区高麗橋四丁目3番10号
【電話番号】	06-6203-4771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 武川 隆彦
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区高麗橋四丁目3番10号
【電話番号】	06-6203-4771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 武川 隆彦
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第1四半期 連結累計期間	第56期 第1四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	7,727,604	6,818,897	28,247,878
経常利益(千円)	1,230,687	957,578	3,826,426
四半期(当期)純利益(千円)	1,192,792	543,234	2,508,189
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,070,907	305,624	2,641,390
純資産額(千円)	19,246,757	20,930,063	20,719,355
総資産額(千円)	36,529,262	33,651,951	33,856,190
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	189.29	86.21	398.04
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	52.58	62.08	61.07
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	32,585	1,112,901	1,838,731
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	482,789	125,514	882,532
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,163,435	1,095,473	4,063,860
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	5,433,838	3,890,808	4,057,290

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式等調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および連結子会社8社)が行っている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクの内容について、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものです。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな回復の傾向が見られるものの、欧州の財政金融問題が再び深刻化したことによる世界的な景気の下振れリスク、円高の長期化や株式市場の低迷、電力供給不安などを背景に、景気の見通しは不透明な状況が続きました。

このような状況のもとで、当社グループは、国内外の拠点間のネットワークを活かした販売活動の強化や顧客のニーズに合わせた商品開発に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,818,897千円（前年同期比11.8%減、908,706千円減）となりました。営業利益は997,366千円（同22.5%減、289,787千円減）、経常利益は957,578千円（同22.2%減、273,109千円減）、四半期純利益については、前年同期において計上した米子会社の固定資産譲渡による特別利益がなくなったこともあり、543,234千円（同54.5%減、649,557千円減）と減益となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

（ライフサイエンス事業）

中国および米国の連結子会社においては、外部販売が微増となりました。一方、国内においては、前年同期には東日本大震災後の需要増加がありましたが、当第1四半期連結累計期間には飲料用途を中心に需要が伸び悩んだため、果実酸類の売上高が減少しました。

これらの結果、ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が4,511,340千円（前年同期比10.1%減、507,695千円減）、営業利益は584,233千円（同26.6%減、211,733千円減）となりました。

（電子材料および機能性化学品事業）

半導体市場の緩やかな回復を受け、超高純度コロイダルシリカの売上高は、直前の四半期連結会計期間に対して伸張しましたが、前年同期の水準まで回復するには至らず、前年同期比では減少となりました。機能性化学品については、主力製品の製造を中止した樹脂添加剤の売上高が減少しました。

これらの結果、電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が2,307,557千円（前年同期比14.8%減、401,010千円減）、営業利益は580,040千円（同17.4%減、121,787千円減）となりました。

（2）財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ204,239千円減少し、33,651,951千円となりました。これは主に、減価償却が進んだことによる有形固定資産の減少および借入金の返済による現金及び預金の減少によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ414,947千円減少し、12,721,887千円となりました。これは主に、借入金の返済によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ210,708千円増加し、20,930,063千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少額を利益剰余金の増加額が上回ったことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の発生により取得した資金を長期借入金の返済に充てた結果、前連結会計年度末に比べ166,481千円減少し、3,890,808千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は1,112,901千円(前年同期は32,585千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益および減価償却費が発生したためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は125,514千円(前年同期は482,789千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産を取得したためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,095,473千円(前年同期は1,163,435千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済を行ったためです。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は126,384千円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,302,200	6,302,200	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,302,200	6,302,200	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減 額(千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	6,302,200	-	1,180,367	-	1,667,042

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 1,000	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 6,299,400	62,994	-
単元未満株式	普通株式 1,800	-	-
発行済株式総数	6,302,200	-	-
総株主の議決権	-	62,994	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
扶桑化学工業株式会社	大阪市中央区高麗橋 四丁目3番10号	1,000	-	1,000	0.02
計	-	1,000	-	1,000	0.02

（注）当第1四半期会計期間末の自己株式数は1,086株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しています。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,124,117	3,955,154
受取手形及び売掛金	1 7,188,018	1 7,420,271
商品及び製品	5,082,895	5,288,488
仕掛品	212,121	200,671
原材料及び貯蔵品	1,095,173	928,206
繰延税金資産	390,798	388,950
その他	708,114	824,214
貸倒引当金	7,828	7,599
流動資産合計	18,793,412	18,998,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,771,413	6,660,983
機械装置及び運搬具(純額)	2,548,457	2,514,032
土地	3,049,923	3,047,152
建設仮勘定	137,150	17,661
その他(純額)	402,753	378,923
有形固定資産合計	12,909,699	12,618,752
無形固定資産	446,074	412,881
投資その他の資産		
投資有価証券	585,699	566,828
長期前払費用	450,434	383,882
繰延税金資産	369,977	379,534
その他	401,798	389,430
貸倒引当金	100,905	97,717
投資その他の資産合計	1,707,004	1,621,958
固定資産合計	15,062,777	14,653,593
資産合計	33,856,190	33,651,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,454,991	1,621,083
短期借入金	3,637,300	3,368,650
未払金	974,596	1,147,767
未払法人税等	98,494	366,517
賞与引当金	295,218	192,625
役員賞与引当金	40,000	10,000
その他	549,158	680,823
流動負債合計	7,049,758	7,387,467
固定負債		
長期借入金	4,822,050	4,089,950
繰延税金負債	64,882	62,646
退職給付引当金	1,014,387	1,010,873
資産除去債務	9,417	9,417
その他	176,339	161,532
固定負債合計	6,087,076	5,334,420
負債合計	13,136,835	12,721,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,367	1,180,367
資本剰余金	1,667,042	1,667,042
利益剰余金	18,195,408	18,644,126
自己株式	2,707	2,707
株主資本合計	21,040,111	21,488,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162,976	149,841
為替換算調整勘定	526,320	748,464
その他の包括利益累計額合計	363,343	598,622
少数株主持分	42,587	39,856
純資産合計	20,719,355	20,930,063
負債純資産合計	33,856,190	33,651,951

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,727,604	6,818,897
売上原価	4,631,890	4,092,618
売上総利益	3,095,714	2,726,279
販売費及び一般管理費	1,808,560	1,728,913
営業利益	1,287,153	997,366
営業外収益		
受取利息	4,280	4,018
受取配当金	8,201	7,751
受取手数料	2,604	2,722
その他	10,407	6,334
営業外収益合計	25,493	20,827
営業外費用		
支払利息	48,344	33,310
為替差損	32,495	26,788
その他	1,119	515
営業外費用合計	81,959	60,614
経常利益	1,230,687	957,578
特別利益		
固定資産売却益	756,478	139
特別利益合計	756,478	139
特別損失		
固定資産除却損	143	2,612
課徴金	-	53,296
特別損失合計	143	55,908
税金等調整前四半期純利益	1,987,023	901,809
法人税、住民税及び事業税	772,913	372,794
法人税等調整額	22,140	11,889
法人税等合計	795,054	360,905
少数株主損益調整前四半期純利益	1,191,968	540,903
少数株主損失()	823	2,331
四半期純利益	1,192,792	543,234

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,191,968	540,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,999	13,135
為替換算調整勘定	111,062	222,143
その他の包括利益合計	121,061	235,278
四半期包括利益	1,070,907	305,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,071,731	307,956
少数株主に係る四半期包括利益	823	2,331

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,987,023	901,809
減価償却費	430,506	390,194
のれん償却額	34,818	7,766
貸倒引当金の増減額(は減少)	299	19
賞与引当金の増減額(は減少)	113,546	101,924
役員賞与引当金の増減額(は減少)	33,750	30,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	28,697	1,911
受取利息及び受取配当金	12,481	11,770
支払利息	48,344	33,310
為替差損益(は益)	17,839	8,646
固定資産売却損益(は益)	756,478	139
固定資産除却損	143	2,612
売上債権の増減額(は増加)	125,623	274,549
たな卸資産の増減額(は増加)	1,849	89,261
仕入債務の増減額(は減少)	87,283	179,210
未払金の増減額(は減少)	181,204	212,478
長期未払金の増減額(は減少)	1,020,000	-
その他	236,877	56,703
小計	989,306	1,287,017
利息及び配当金の受取額	12,603	11,743
利息の支払額	46,698	31,748
法人税等の支払額	987,796	154,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,585	1,112,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	989,358	101,358
有形固定資産の売却による収入	489,130	139
無形固定資産の取得による支出	9,745	7,434
投資有価証券の取得による支出	1,253	924
長期貸付金の回収による収入	60	100
その他	28,378	16,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	482,789	125,514
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	197,065	-
長期借入金の返済による支出	872,600	1,000,750
自己株式の取得による支出	253	-
配当金の支払額	90,878	91,675
少数株主への配当金の支払額	400	400
リース債務の返済による支出	2,238	2,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,163,435	1,095,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,920	58,395
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,713,731	166,481
現金及び現金同等物の期首残高	7,147,569	4,057,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,433,838	3,890,808

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間において、重要な変更はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	254,945千円	205,480千円
支払手形	3,906	875
その他 (注)	312	19,897

(注) その他は、設備関係支払手形の金額を記載しています。

(四半期連結損益計算書関係)

1 課徴金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

中国において法令に関する認識の相違により課せられたものです。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
現金及び預金勘定	5,558,459千円	3,955,154千円
預入期間が3か月を超える定期預金	124,621	64,345
現金及び現金同等物	5,433,838	3,890,808

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	94,520	15	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	94,516	15	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,019,036	2,708,567	7,727,604	-	7,727,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2,511	2,511	2,511	-
計	5,019,036	2,711,079	7,730,115	2,511	7,727,604
セグメント利益	795,966	701,827	1,497,794	210,641	1,287,153

(注)1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用213,464千円、その他2,823千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,511,340	2,307,557	6,818,897	-	6,818,897
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	1,607	1,607	1,607	-
計	4,511,340	2,309,164	6,820,505	1,607	6,818,897
セグメント利益	584,233	580,040	1,164,273	166,907	997,366

(注)1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用175,019千円、その他8,111千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	189円29銭	86円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,192,792	543,234
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,192,792	543,234
普通株式の期中平均株式数(株)	6,301,332	6,301,114

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月10日

扶桑化学工業株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉田 敏宏 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 正彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている扶桑化学工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、扶桑化学工業株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。